



GJS Letter

No.11 / 2.03.2023
ニューヨーク日本人学校
校長 岡田雅彦

年の初めの伝統行事の実施

いてもなかなか体験できないものもありますが、日本人学校では、アメリカで生活している中で、日本人として日本文化を体験し、味わうことで日本人としての心の醸成を図りたいと考えております。

書初め大会

1月5日、6日の2日間にわたり、

新校舎に移ってから初めての「書初め大会」を実施しました。1年生・2年生は硬筆で、3年生以上は毛筆の作品を仕上げました。毛筆は体育館で3・4年、5・6年、中等部にそれぞれ分かれて一斉に行いました。



硬筆、毛筆ともに、お手本を見ながら、一画一画に心を込めて丁寧に筆を動かしました。体育館では一人も声を出すことなく、子供たちの緊張した空気に満たされていました。提出された作品は、今年も大変すばらしい作品ぞろいで厳正な審査の結果、金賞、銀賞、銅賞の作品が選ばれ表彰されました。年の初めに、心を集中して取り組む大変貴重な時間となりました。

百人一首大会

1月9日、6年生から9年生までが

体育館をいっぱいに使って、「百人一首大会」を実施しました。国語の時間で学習した百人一首を一斉に行いました。学年の枠を超えて、「小結」「関脇」「大関」「横綱」の4つのランクに分かれて競います。



読み手の先生の声に集中し、最初の一字を読み上げられた瞬間に、身体全体で遠くの札を取りに行くほどの激しい取り合いは、映画の「ちはやふる」さながらでした。書初めの静かな集中力とは全く質の違った、さながらスポーツをする時のような集中力を見せていました。

もちつき会

1月11日に1年生から3年生までの参加で、「もちつき会」を行いました。昨年は、



コロナの影響がありましたが、今年はボランティアのご協力をいただき、もちつきの体験に加え、おいしいお餅を食べることができました。杵を持って重さに驚く様子や真剣な表情でもちをつく様子が見られました。この季節ならではの貴重な体験となりました。

学校間交流

1月は、1年生、5・6年生、7年生、8年生の学校間交流と中等部のバスケットボール交流会が行われました。訪問先の学校では、様々な教科を英語

で授業を受ける体験をしたり、招待した際は日本の文化を体験してもらったりして交流をしました。初めは緊張した表情でしたが、次第に英語を使って会話が弾み、交流する楽しさを味わっていました。また、中等部は秋のサッカー交流に引き続き、ミドルスクール3校とバスケットボールの試合を通してスポーツ交流も行い、他校との親睦を深めることができました。



【8年生KING SCHOOLでの授業体験】



【5・6年生 日本文化紹介】

Winter sports スケート教室

今年は初等部が体育科の授業としてスケート教室を開催しました。アメリカのウィンタースポーツとしてとても盛んなスポーツで、子供たちも生き生きと楽しむことができました。始めはこわごわと氷の上にいた子供も、コーチの指導を受けると、少しずつ滑れるようになり、最後には汗だくになるほどスケートを楽しんでいました。スケート指導のコーチからは「礼儀正しくて、一生懸命に課題に取り組んでくれるとても良い子供たちで、いつでも来てほしい」とほめていただきました

今年は初等部が体育科の授業としてスケート教室を開催しました。アメリカのウィンタースポーツとしてとても盛んなスポーツで、子供たちも



2月のおもな行事予定

申しわけありません
一般非公開としております

ご多用の中、保護者の皆様にはオープンスクール・懇談会にご出席いただき、ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。